

2026年度 こども学科 「子どもと絵本Ⅰ」授業計画

時間割 (3限:13:10~14:40 4限:14:50~16:20 5限:16:30~18:00)

|           |  |
|-----------|--|
| 授 業 科 目 名 | 子どもと絵本Ⅰ  |
| 授 業 形 態   | オムニバス方式  |
| 単 位 数     | 2単位  |
| 開 講 時 期   | 4年前期   |
| 担 当 者 名   | <p>本学教職員：<br/>学科長、村田康常、片山伸子、藤田憲哉、大崎千秋</p> <p>ゲスト講師：<br/>服部裕子氏（名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学非常勤講師）<br/>石川雄一氏（岩崎書店編集者）<br/>中川あゆみ氏（名古屋女子大学教授）<br/>増田喜昭氏（子どもの本専門店メリーゴーランド店主）<br/>中西由香里氏（愛知淑徳大学他、非常勤講師）</p> |

授業科目の内容

本科目は、「認定絵本土養成講座」として開設されている科目である。本講座において、「子どもと絵本Ⅰ」（4年前期）、「子どもと絵本Ⅱ」（4年前期）の2科目を履修し、合計4単位を修得することにより、認定絵本土の称号を得ることができる。

認定絵本土に認定された後は、絵本に関して学んだ知識や技能を活かし、保育の現場や地域で絵本の魅力や可能性を伝え、子どもの読書活動を充実させる役割を担うことが期待される。

授業の全体計画 【担当者】 ( ) 数字:各回の修得目標

|      |   |            |
|------|---|------------|
| 第1回  | オリエンテーション 【学科長・村田】  | 4月13日(月)3限 |
|      | (1) 我が国の読書推進活動に関する施策の経緯について理解する。<br>(2) 受講生同士の相互理解を深めるとともに、絵本専門士の役割について確認する。                |            |
| 第2回  | 絵本総論（絵本とは何か） ○課題 【村田】   | 6月15日(月)4限 |
|      | (1) 「絵本」をめぐる行為について理解する。<br>(2) 「絵本」の定義の捉え方について理解する。<br>(3) 「絵本」の多面性を理解するとともに、その可能性や課題を理解する。 |            |
| 第3回  | 絵本各論①（絵本の歴史、絵本賞について） ○課題 【村田】   | 7月20日(祝)4限 |
|      | (1) 世界の絵本の歴史について理解する。<br>(2) 日本の絵本の歴史について理解する。<br>(3) 絵本賞について理解する。                          |            |
| 第4回  | 絵本各論②（視覚表現、言語表現から見た絵本） ○課題 【村田】   | 7月27日(月)3限 |
|      | (1) 絵本の視覚表現特性について理解する。<br>(2) 絵本の言語表現特性について理解する。  |            |
| 第5回  | 絵本各論③（子供の知的・社会的発達と絵本との関わり） 【片山】   | 4月20日(月)5限 |
|      | (1) 各年齢期の子供の発達と絵本との関わりについて理解する。<br>(2) 絵本が子供の発達に及ぼす影響に関する学術的知見を理解する。                        |            |
| 第6回  | 絵本各論④（メディアとしての絵本の位置づけ） ○課題 【藤田】   | 6月29日(月)4限 |
|      | (1) 情報メディアとしての絵本の特性について理解する。<br>(2) 絵本と著作権との関係について理解する。<br>(3) 電子書籍と子供の脳の関係について理解する。        |            |
| 第7回  | さまざまなジャンルの絵本①（物語の絵本） 【服部裕子氏】 ※ゲスト講師   | 4月20日(月)4限 |
|      | (1) 物語を内容とした絵本の特性について理解する。<br>(2) 絵本における絵と言葉で語る技法を体得する。                                     |            |
| 第8回  | さまざまなジャンルの絵本②（昔話、童話を基にした絵本） 【服部裕子氏】 ※ゲスト講師  | 6月22日(月)4限 |
|      | (1) 昔話及び童話を題材にした絵本の特性について理解する。<br>(2) 昔話及び童話を題材にした絵本における再話や絵本の質のあり方について理解する。                |            |
| 第9回  | さまざまなジャンルの絵本③（科学絵本） 【石川雄一氏】 ※ゲスト講師  | 6月8日(月)3限  |
|      | (1) 自然科学・社会科学に関する絵本の特性について理解する。<br>(2) 科学絵本等の活用方法について理解する。                                  |            |
| 第10回 | 絵本の世界を広げる技術①（絵本を探す技術） 【藤田】  | 7月6日(月)5限  |
|      | (1) 絵本を探す多様な手段（情報源）とキーワード（テーマや登場人物等）について理解する。   |            |

※日程は変更になる場合があります

|   |  |
|---|--|
|   | (2) 絵本検索に係る各手段の活用方法を体得する。  |
| 第11回  | 絵本の世界を広げる技術②(ワークショップ) ○課題 【中川あゆみ氏】※ゲスト講師 7月13日(月)5限<br>(1) 絵本を活用した表現活動について理解する。<br>(2) 絵本を活用した表現活動の基礎的技術を体得する。   |
| 第12回  | 絵本の世界を広げる技術③(絵本コンサルジュ術)【増田喜昭氏】※ゲスト講師 5月11日(月)4限<br>(1) 相談者の要望に応じた絵本を提案する技術を体得する。<br>(2) 絵本の提案の前提となる、絵本に係る情報収集及び整理の方法について理解する。  |
| 第13回  | 絵本を紹介する技術①(ブックトークの技術) ○課題 【中西由香里氏】※ゲスト講師 7月27日(月)4限<br>(1) 場面や目的に応じた適切なブックトーク及びビブリオトークについて理解する。<br>(2) 場面や目的に応じた適切なブックトーク及びビブリオトークの技術を体得する。                                  |
| 第14回  | 絵本を紹介する技術②(書評・紹介文の書き方) 【村田】 7月13日(月)4限<br>(1) 絵本の内容及び特質を客観的に捉えることについて理解する。<br>(2) 書評及び紹介文の書き方を体得する。  |
| 第15回  | 絵本を紹介する技術③(支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割)○課題【大崎】 4月27日(月)5限<br>(1) 障がい者、病児及び高齢者等、絵本の選択や紹介にあたり、特に配慮を要する人について理解する。<br>(2) 上記各者に対する絵本の役割や効果について理解する。<br>(3) 上記各者に対する適切な絵本選びと絵本の紹介方法を体得する。 |
| <b>授業時間外の学習(事前又は事後)</b>   |  |
| 第2、3、4、6、11、13、15回では、90分の授業の他に、30分の課題を行う。                         |  |
| <b>単位認定に関わる評価方法</b>   |  |
| 授業への参加態度、各授業で指示された課題を総合して評価する。<br>単位認定の要件として、全授業回数の8割以上の出席が必要である。 |  |
| <b>テキスト</b>   |  |
| 「認定絵本土養成講座」指定テキスト(絵本専門士委員会)                                       |  |
| <b>参考書・参考資料等</b>  |  |
| 授業時に適宜紹介する。   |  |

※日程は変更になる場合があります

2026年度 こども学科 「子どもと絵本Ⅱ」授業計画

時間割 (3限:13:10~14:40 4限:14:50~16:20 5限:16:30~18:00)

|           |  |
|-----------|--|
| 授 業 科 目 名 | 子どもと絵本Ⅱ  |
| 授 業 形 態   | オムニバス方式  |
| 単 位 数     | 2単位  |
| 開 講 時 期   | 4年前期   |
| 担 当 者 名   | <p>本学教員：<br/>学科長、後藤由美、豊田明子、大崎千秋、村田康常</p> <p>ゲスト講師：<br/>山田肇子氏 (元愛知芸術文化センター愛知県図書館司書)<br/>三輪丈太郎氏 (メルヘンハウス二代目)<br/>永田桂子氏 (児童文化研究者)<br/>松本育子氏 (刈谷市美術館館長代理)<br/>服部裕子氏 (名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学非常勤講師)<br/>中川あゆみ氏 (名古屋女子大学教授)<br/>牛田康弘氏 (愛知県児童総合センター )<br/>高島純氏 (絵本作家)<br/>石川雄一氏 (岩崎書店編集者)</p> |

| 授業科目の内容  |   |
|--|---|
| <p>本科目は、「認定絵本士養成講座」として開設されている科目である。本講座において、「子どもと絵本Ⅰ」(4年前期)、「子どもと絵本Ⅱ」(4年前期)の2科目を履修し、合計4単位を修得することにより、認定絵本士の称号を得ることができる。</p> <p>認定絵本士に認定された後は、絵本に関して学んだ知識や技能を活かし、保育の現場や地域で絵本の魅力や可能性を伝え、子どもの読書活動を充実させる役割を担うことが期待される。</p> |   |
| 授業の全体計画 【担当者】 ( ) 数字:各回の修得目標   |   |
| 第1回 絵本と出会う① (はじめての絵本との出会い) 【後藤】 5月11日(月)3限   | (1) 乳幼児を対象とした絵本の特色を理解する。<br>(2) 乳幼児が絵本に触れるための具体的取組について理解する。                     |
| 第2回 絵本と出会う② (保育・教育の場での出会い) 【服部裕子氏】※ゲスト講師 5月18日(月)4限  | (1) 保育・教育現場における絵本の意義について理解する。<br>(2) 保育・教育現場における絵本を用いた活動の具体的取組について理解する。         |
| 第3回 絵本と出会う③ (図書館等での出会い～絵本の活用及び地域連携の可能性～) 【山田肇子氏】※ゲスト講師 4月20日(月)3限  | (1) 公共図書館の行う児童サービスについて理解する。<br>(2) 地域の読書推進活動における絵本をめぐる活動の展開を理解する。               |
| 第4回 絵本と出会う④ (書店での出会い) 【三輪丈太郎氏】※ゲスト講師 4月13日(月)4限  | (1) 書店における絵本の売り場づくりの特性について理解する。<br>(2) 絵本の流通について理解する。                           |
| 第5回 絵本の持つ力 (さまざまな角度から絵本を見る) 【永田桂子氏】※ゲスト講師 4月27日(月)4限   | (1) 絵本の持つ可能性及び相反する力について理解する。<br>(2) 絵本が子供達に与える影響について多面的な視野から見つめることにより、批評力を体得する。 |
| 第6回 心に寄り添う絵本 (心のケアと絵本の可能性) 【豊田】 6月22日(月)3限   | (1) 心のケアが求められる場面や場所における絵本活用の可能性について理解する。  |
| 第7回 絵本のある空間 (絵本のある望ましい空間とは) 【松本育子氏】※ゲスト講師 6月29日(月)3限   | (1) 子供にとって魅力的な絵本に関する空間やレイアウトについて理解する。   |
| 第8回 子供の心をとらえるもの (子供の心をとらえて離さないもの) 【服部裕子氏】※ゲスト講師 6月15日(月)5限   | (1) 子供達の興味について理解する。<br>(2) 絵本以外のメディアを知る。  |
| 第9回 大人の心を豊かにする絵本 (人生で3度、絵本を手にする喜び、大人にこそ絵本を) ○課題 【中川あゆみ氏】※ゲスト講師 7月20日(祝)3限  | (1) 絵本が大人に与える影響について理解する。  |
| 第10回 ホスピタリティに学ぶ (人を楽しませる為の手法を学ぼう) 【牛田康弘氏】※ゲスト講師  |   |

※日程は変更になる場合があります

|  |
|--|
| <b>5月18日(月)3限</b><br>(1) 絵本以外で人を楽しませる為の手法について理解する。   |
| 第11回 絵本が生まれる現場①(作家の感性に触れる) ○課題 【高島純氏】※ゲスト講師 7月6日(月)4限<br>(1) 絵本の作り手の思いについて理解する。  |
| 第12回 絵本が生まれる現場②(絵本の編集) 【石川雄一氏】※ゲスト講師 6月8日(月)4限<br>(1) 絵本の編集者の仕事について理解する。   |
| 第13回 おはなし会の手法①(おはなし会を開こう) ○課題 【村田】 6月15日(月)3限<br>(1) 「おはなし会」について理解する。<br>(2) 「おはなし会」のプログラム作成及び運営に係る手法を体得する。                        |
| 第14回 おはなし会の手法②(おはなし会のテクニック) ○課題 【村田】 6月22日(月)5限<br>(1) 「おはなし会」のテクニックについて理解する。<br>(2) 「おはなし会」のテクニックを体得する。                           |
| 第15回 ディスカッション(絵本専門士としての今後の活動) 【学科長・村田】 7月27日(月)5限<br>(1) 絵本専門士養成講座で修得した知識・技能・感性を生かした今後の計画活動について討議することにより、絵本専門士としての役割や行動すべきことを理解する。 |
| <b>授業時間外の学習(事前又は事後)</b><br>第9、11、13、14回では、90分の授業の他に、30分の課題を行う。   |
| <b>単位認定に関わる評価方法</b><br>授業への参加態度、各授業で指示された課題を総合して評価する。<br>単位認定の要件として、全授業回数の8割以上の出席が必要である。   |
| <b>テキスト</b><br>「認定絵本土養成講座」指定テキスト(絵本専門士委員会)   |
| <b>参考書・参考資料等</b><br>授業時に適宜紹介する。  |